

長かった梅雨もようやく明けますね。大雨が続き、農作物の生育が心配でしたが、上条農園では今年も立派なじゃがいもを収穫することができました。

いよいよ本格的に暑くなってきます。皆様、熱中症にはお気をつけください！

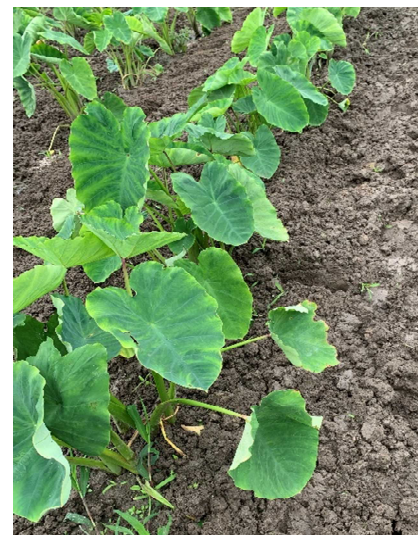
上条を活性化する会 ジャがいも販売

7月11日（土）、上条を活性化する会によるじゃがいもの販売が行われました。この日は、体験会を実施する予定でしたが、あいにくの雨により中止とし、販売のみとなりました。事前に掘っておいたじゃがいもと上条で採れた野菜や果物を用意しました。足元の悪い中でしたが、多くの方にお越しいただきました。ちびっこ達も来てくれて賑やかな雰囲気でした。



みんなの畑 里芋の土寄せ

7月11日（土）、みんなの畑にて、上条を活性化する会による里芋の土寄せが行われました。長雨が続いた後の畑はぐちゃぐちゃで、気を抜くと泥に足を取られてしまい、作業がとても大変でした。里芋は順調に育っていて、葉っぱがかなり大きくなってきました。



上条農園 ジャがいもの収穫

体験会が中止となったため、7月19日（日）、上条農園にて、上条を活性化する会によるじゃがいもの収穫が行われました。ずっと雨が続けていましたが、この日は久々の快晴。収穫日和でした。

鍬で株を掘り起こすと、土の中からたくさんのじゃがいもがごろごろ出てきました。大きいものから小さいものまで、今年も上条の立派なじゃがいもをたくさん収穫することができました。



日本遺産に認定されました！

このたび、甲州市が茨城県牛久市とともに申請した日本遺産のテーマ「日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和文化の結晶～」が文化庁により認定されました。

日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて、文化・伝統を語るストーリーを、文化庁が認定し、魅力溢れる文化財群を活用、発信し、地域活性化につなげるものです。

今回、認定された「日本ワイン140年史」とは、国産ブドウを原料とし、国内で醸造される日本ワインの140年間に渡る歴史のことであり、その歴史に大きく寄与したのが甲州市と牛久市です。

甲州市は、ブドウ農家との共存繁栄をはかり、広大なブドウ畑と新旧30ものワイナリーを誕生させました。牛久市の「牛久シャトー」は、ブドウ栽培から醸造までの一貫した工程を構築し、大規模な醸造体制を確立しました。切磋琢磨して日本のワイン文化の広まりに貢献したことが評価されました。



シャトーカミヤ旧醸造場施設事務室（牛久市）



宮光園（甲州市）